

一般質問

◆DXの推進について

質問 標準システム移行に伴う課題と今後の対策について伺う。

答弁 システム開発業者の技術者不足により製品開発にも遅れが生じている。作業の遅れが最小限となるよう、システム開発業者からの情報収集や庁内担当職員との連携を深め、進捗状況を的確に把握しながら移行作業を進める。

質問 公共施設オンライン予約の使い勝手が悪いことへの対策について伺う。

答弁 今年度は申請時の入力項目を簡素化したほか、町内会等が主催するスマートフォン教室10会場において、オンライン予約システムの周知にも取り組んでいる。

◆空き家等対策事業について

質問 空き家バンクへの登録状況と取組について伺う。

答弁 令和5年度から利用希望者が宅建協会と直接やり取りする方式に変更した。令和5年度の登録は4件、そのうち1件は成約につながった。令和6年度は登録見込みが3件、移住者向けの改修補助も1件あった。

質問 空き家を一時的に民宿のように利用できないか伺う。

答弁 民間ベースのビジネスとして、空き家を宿泊施設とする活用策の可能性を探りながら情報収集に努めていく。

◆ゆざわジオパークの活動について

質問 発足当時、熱気のある市民への周知と比較し、現状では発信力が足りないと感じるが、今後の対策について伺う。

答弁 今回の日本ジオパーク再認定審査結果においても、改善すべきとの指摘を受けており、現在ホームページの改修と内容の刷新を進めている。このほか国内外に向けた情報発信はSNSの活用が有効的な手段であると考え、多方面から情報発信を強化していく。



◆本市の教育方針について

質問 修学旅行の教育的意義について伺う。

答弁 楽しい思い出づくりの場であると同時に、児童・生徒が主体的に学ぶ貴重な機会と捉えている。

質問 先の定例会で佐藤勝議員からの一般質問で「宿泊費高騰によって修学旅行に影響がないか」に対して、「中学校へ指導をしていく」と答弁があったが、どのような指導をされたのか伺う。

答弁 各学校に改めて確認し、積立金の範囲内で実施できると報告を受けている。

質問 「何を体験させるか、何を考えさせるか」という中で、修学旅行の企画的なものに対して、助成金を検討しても良いと思うが考えを伺う。

答弁 現時点では、トータルの修学旅行の旅費を考えており、助成金の検討までには至っていない。

質問 スキー教室について、市民から金銭面を含めた課題等をいただいたが、そのことについて伺う。

答弁 スキー教室の負担については保護者の方々には、色々なご意見がある。年数回のためにレンタルしなければならぬという話や雪国で育っている中で、是非そういった体験をさせたいという話もいただいている。地域的なことを考えながら各学校で対応を検討している状況である。

◆観光振興について

質問 補助金の適切な目的について、主催者との意思共有が出来るのか伺う。

答弁 補助金の申請段階で色々な話をしており、明確な目的については、申請の段階で計上させ、進めるべきものと考えている。

